

学位論文概要「環境情報からのメッセージ」

名前	指導教員	論題	論文要約
田中徳久	持田幸良	標本データベースを活用した 神奈川県地域植物相の特徴 と多様性	『神奈川県植物誌 2001』のために構築された標本データベースおよび同書に掲載されている 3,001 分類群の分布情報の記述を解析し、神奈川県植物地理区分、レッドデータ植物の分布、帰化植物の分布拡大、植物区系要素などについて明らかにした。また、既報により他都道府県から報告されている分類群数と比較し、神奈川県は狭い面積に対し、豊富な植物相を有することなどが示された。
佐々木由佳	本藤祐樹	相模湾の動物プランクトンによる二次・三次生産および大型 カイアシ類 <i>Eucalanus californicus</i> の季節的鉛直移動による炭素輸送からみた生態系サービスと動物プランクトンの多様性との関係について	本研究では、動物プランクトンの二次・三次生産の季節変化とカイアシ類 <i>Eucalanus californicus</i> の炭素輸送量をもとに、相模湾の動物プランクトンの種多様性と生態系サービスの関係を検討した。動物プランクトンの種多様性と生産性の関係は栄養段階により異なり、これには種組成が影響すること、さらに <i>E. californicus</i> の炭素輸送量は年変動することが明らかとなった。これらの結果より、動物プランクトンの種多様性が海洋の生態系サービスに影響を与えていることが示唆された。
岡田尚樹	村井基彦	波浪中における波エネルギー 吸収の最大化を目的とした浮 体形状に関する研究	波力発電の研究は古くから行われてきたが、世界的にみても未だ実用化には至っていない。本論文では、浮体式可動物体型に焦点を絞り①波力発電装置に対する評価手法について、②波力発電ファームを想定した複数機配置に適した形状と単機配置に適した形状の関係について、③幅広い周期域においても性能の高い形状について、各条件において適した形状を遺伝的アルゴリズムにより求め、形状的特徴を比較する等により多角的に検討した。